

{おしらせ}

下有住高齢者教室がはじまります

- ・平成29年5月～30年3月(年8回程度)
 - ・下有住地区内の60歳以上の町民の方を募集します。
 - ・活動内容 (文化芸術の鑑賞、食の伝承体験、小旅行等)
- ※入講希望者は地区公民館までお知らせ願います。

○開講式 **5月25日(木) 11:00～**

第1回学習会(世田米駐在所の安全指導) 11:30～12:00

昼食(手打ちそばを用意します) 12:00～13:00

二瑚・シンセサイザー演奏会 13:30～14:00

 **うたごえ喫茶**  **6月11日(日)13:30～15:30**

懐かしい歌を一緒に歌お

住田町役場 町民ホール
出演者 新宿ともしび
入場料 無料

※金野千津さん(新切)からご紹介いただきました。

下有住地区「小さな拠点づくり」 意見交換会を開催しました。

5月10日（木）に、「小さな拠点づくり」と題して、下有住地区の今後の活発な自治活動を行うための組織体制や運営方法等を話し合う意見交換会を開催しました。

はじめに住田町企画財政課から、「小さな拠点」では、地域の困りごと解決や地域活性化のために、人「集落支援員、地域おこし協力隊」、物「公民館」、金「地域交付金（80万円/年）」を配置し、各地区で自主的な活動を進める施策という説明がありました。

また、地域交付金は、3年間各地区に交付し、行政ではなかなか支援できない必要な活動に柔軟に使えるよう、用途は定めないこととし、代表者、監事、役員を地域全体で選任して運営する協同組織が必要とのこと。

意見交換会状況



- ・出席者 20名
（各自治公民館長、婦人部長、地区民
役場企画財政課、邑サポート
下有住地区公民館）

○意見交換会 総意事項

- ・下有住地区全体の組織を創ること
- ・総会を開催し、代表、監事、役員を選任すること
- ・事務局は下有住地区公民館に置き、総会準備を行うこと
- ・県補助金「いわて農業農村活性化推進ビジョン」を活用し、事務局主体に事業（申請事務）を進めて行くこと

意見交換会では、組織化に向けて議論しました。

組織化に向けては、組織準備会の事務局を下有住地区公民館に置き、名称、規約、組織体制（代表、監事、役員選任）を決めるための総会を6月中に行えるよう準備することで参加者から総意を得ました。

構成員は、下有住地区住民全とし、地域交付金を活用した事業については、地区住民が誰でも発議できる仕組みが大切ということを共有しました。

また、地域交付金（80万円）の他に、今年度に限り、県単独補助金「いわて農業農村活性化推進ビジョン」を活用すれば、同様の地域活動（遊休農地の活用、地域交流、文化伝統活動）を最大150万円まで事業を行うことができるため、そちらも申請準備することで進めていきます。